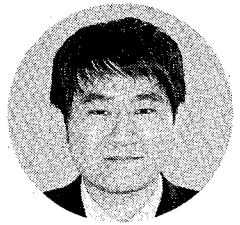


SHINSHU  
信州

情報はJA長野中央会  
または最寄りのJAへ  
JA長野中央会企画広報課  
〒380-0826  
長野市北石堂町1177-3  
TEL026(236)2026  
FAX026(223)0171  
いいJAん!信州  
http://www.ijjan.or.jp/

タイム

唐澤 諒さん(JA上伊那辰野支  
所金融課)  
金融の渉外担当者として、地元の  
皆さんから信頼されている唐澤さん  
は入所2年目。  
お客さんに顔を覚えてもらい「唐



澤さんにお願したい」と言っても  
らえるJA職員を目指して日々努力  
している。  
また、今年から始まったJAの農  
業体験教室「あぐりスクール」辰野  
校の担任としても活躍中だ。

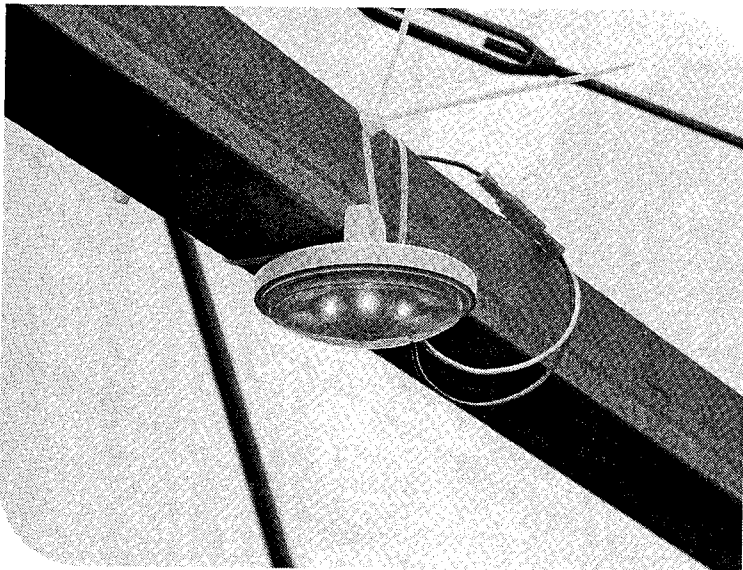
# LEDで夜ガ防除

# レピガード普及へ

JA全農長野はレピガードの普及展示圃(ほ)を県内3カ所に設け、オオタバコガなどの害虫防除の負担を減らす取り組みを始めた。展示圃は、カーネーション栽培を主体に御代田町、安曇野市、富士見町の生産者のハウスを選んだ。

## 3カ所に展示圃

JA  
全農長野



展示圃に設置されたレピガード

レピガードは、高輝度LED(発光ダイオード)を使用した夜ガ類害虫の行動を抑制する装置。LEDは、すでに交通信号や電飾などに広く使われているが、白熱電球や蛍光灯に比べて、大きな防除が行われてきた。幅に電力消費を抑えることができる。しかし、農薬の連続散布が難しい。施設栽培では、特に、花きや果菜類のオオタバコガによる食害が甚大で、農薬散布による丁寧

## 省電力で扱い簡単 他作物への光害抑制

は、害虫の薬剤抵抗性を発達させることから、農薬だけに頼らない栽培管理の取り組みが課題だった。

全農長野では、以前から環境保全型農業の推進



料理教室で協力して調理

に取り組んできたが、このLEDを農業分野で利用できないか試行する中、県野菜花き試験場の指導で、民間企業の技術協力を得て防ガ器として実用化した。

安曇野市は企業や特定非営利活動法人(NPO法人)などと呼び掛け、稲わらや果樹の剪定(せんでい)枝など市内のバイオマスを有効利用する技術を募集している。市内で事業が実施できることが条件。提出書類に事業費、期待される効果などを明記し、郵送または持参で提出する。9月30日締め切り。1次選考は提出された。

設置個数の目安は面積9平方メートルあたり1個程度。配線キットが用意されているので、簡単にタイマーと接続して使用することができる。

購入する場合は、JAまたは県農業改良普及センターのアドバイザーを受けるなど適切な対応が大切。問い合わせと資料の請求は、JA全農長野JA長野県営農センター、026(236)2020。

技術  
2次  
シヨ  
定。